

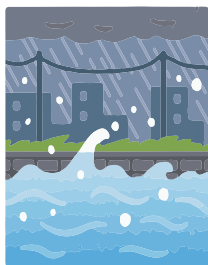
グリーンインフラについて

本制度を活用した雨水対策整備の促進に対する考え方について。

都市建設部長 今後、気候変動により激甚化、頻発化する豪雨への対策として、グリーンインフラの推進は有効な手法の一つであるとして認識している。制度の活用について、関係部署と連携を図りつつ、幅広く取り組ん

でいけるよう検討したいと考えている。

持続可能で誰もが暮らしやすく住み続けたいと思えるまちづくりを実現する上で、インフラ整備は重要な役割を担っている。関係各課と連携を図りながら、グリーンインフラの活用を含め、今後の社会資本整備について検討していく。



情報リテラシー教育について

どのような点に注力して取り組んでいるか。

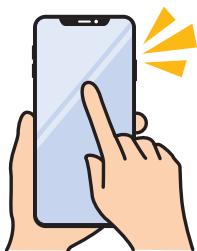
教育部長 各小中学校において、各教科や道徳科の中で指導をしている。特に、資料についての議論やロールプレイ等を通して学ぶことで、体験を通して情報リテラシーが身に付くよう、児童生徒に繰り返し指導している。またSNSやインター

ネットの正しい使い方について、警察や通信機器会社等の専門家による出前授業を実施し、実際に起こった犯罪やトラブルの例をもとに授業を展開している。

さらに、児童生徒の通信機器等に関する安全な利用に向けた家庭におけるルールづくりを学校で実施したり、保護者会や長期休業前に、しおりやお知らせ文書で安全な利用方法について呼びかけたりしている。

教職員向けにも、教育委員会主催の情報セキュリティポリシー研修を毎年行っている。

児童生徒に対する家庭と学校で連携した対応や、教職員への研修等を通して、スマートフォンをはじめとしたICT機器を、安全かつ適切に利用できる児童生徒の育成を目指している。



グリーンインフラの考え方で地域課題の解決を

流末のない箇所での雨水冠水対策促進を



立川 博敏
(たちかわ ひろとし)

録画映像
はこちら

